

あんによ
安 養

～弘願院だより～
第十一号



弘願院寺報『安養』をご覧のみなさまへ

新型コロナウイルスの変異株が猛威を振るう中、まだまだ心が休まりません。皆さまにおかれましては引き続き感染症対策を施し、くれぐれもご自愛ください。

表紙の写真は2月7日の弘願院山門前のお地蔵さまの様子です。写真のように一定量の雪が降ると弘願院のお地蔵さまが雪にすっぽり埋まってしまう。その雪が少し溶けると、雪が雲海のようになり、まるで雲海の中からお地蔵さまが現れているように見えるのです。

雪が降る季節から暦の上でも徐々に春が近づいております。心が定まらない私たちの日々ではありますが、「我が我が」になりがちな時にふと仏さまに手を合わせ、自分自身を省みると、多くの方に支えられているこの私であることに気が付きます。我々一人一人も仏さまのような心持ちで周囲に接し、心を整えて日々過ごして参りましょう。

弘願院住職 森岡 達圭

2022年 弘願院年中行事(法要)のご案内

新型コロナウイルス感染防止策を取りながら、下記のとおり予定しております。

各年中行事を開筵し、その中でとなえたお念仏の功德を各家の先立たれた方々に回し向け、ご供養いたします。法要後には法話をさせていただきます。仏さまの教えをお取次ぎし、今を生きる我々に必要な「心の安穩」をお届けできるように努めてまいります。

各行事の約1か月前に改めてご案内させていただきます。

① 4月24日(日) 14時より

法然上人御忌法要

浄土宗を開かれた法然上人の亡くなった忌日を偲び、そのお徳を讃える法要を「御忌」といいます。浄土宗の総本山、京都の知恩院で開かれる特別な法要でしたが、今では全国各地の浄土宗寺院で法要が行われています。

この度弘願院では浄土宗の宗祖法然上人の811回忌の法要を勤めます。



② 6月25日(土) 14時より

盂蘭盆施餓鬼法要

亡きご先祖さまを極楽浄土からお迎えし、供養するお盆の法要です。

この法要では飢えや渇きに苦しむ餓鬼道に堕ちた「餓鬼」に施し供養する「施餓鬼法要」も併修します。



③ 7月13日(水)~16日(土)

新盆 墓地供養

金沢市内は「新盆」としてお盆を迎える風習があります。お墓参りだけでなく、本堂に上がっていただき、ご本尊である阿弥陀さまへもご挨拶にお越しください。



④ 10月30日(日) 14時より

十夜法要

浄土宗でよりどころとするお経に「十日十夜のあいだ、善行を行うことは、他の仏さまの世界で、千年ものあいだ、善行を励むよりもすぐれている」との一説が由来です。

行事の秋ともいわれる 季節、十夜法要に参拝して「お念仏の秋」をお過ごしください。

※2022年も弘願院の修繕工事(本堂部分の外観)を予定しています。工事の都合により弘願院で開催できない場合は法類寺院の法船寺で併修という形を取る場合があります。詳細は決定次第ご連絡いたします。
十夜法要を法船寺で併修する場合は11月6日(日)14時からです。



住職が総本山で開かれた修行に入りました



昨年ししよでんじゆの11月19日～25日に浄土宗総本山の知恩院においてでんしゅうでんかい璽書伝授道場が開筵され、住職が無事に成満したことをご報告いたします。

璽書伝授道場とは浄土宗の奥義を授かるための行で、浄土宗僧侶になるための伝宗伝戒道場を満行した後、一定期間の修行を積んだ僧侶が入行を許されるものです。

約1週間の間、携帯電話も預け俗世の情報が遮断された状態の中、勤行を勤め、教戒（講義）を受けさせていただきました。このたび道場で伝授されたことは教えを直接話して伝えられる“口伝”でありました。聞き漏らすことのないよう努めましたが、ここがゴールではなく、まだまだ研鑽が必要です。



今回の道場を終え、“一般在家の方々に戒を授ける資格をいただいた”つまり「授戒」という戒法かいほうを授けることを許されました。“戒”とは仏教徒が戒めとして守る行動規範、内面的な道徳規範のことです。（戒を授かった証にいただくものが戒名です。）

浄土宗では、今生きるわれわれの生活規範の杖とし支えとなる“戒”を授ける「授戒会じゅかいえ」や、浄土宗の教えを五つの順序にそって伝授する「五重相伝ごじゅうそうでん」があり、これらの儀式をこの度の修行をもって開筵出来る資格を得ました。今後、弘願院や法類寺院の法船寺にて機をみて儀式を開筵し、有縁の方々に仏教のみ教え、浄土宗のみ教えをお伝えしてまいります。

修了の証として右の写真の巻物を頂戴し、戒名の内の二字となる「誠阿（じょうあ）」を頂戴しました。この“誠”の字のごとく、誠実に仏道修行に励み、弘願院のために尽力してまいります。



2024年(令和6年)

浄土宗開宗850年／弘願院再建350年
弘願院慶讃事業の修繕事業が進んでいます



屋根部分修繕の様子
大がかりな作業が続きました。



墓地側庫裏の途中の様子
暑い中多くの方のお力をいただきました。



2021年9月6日より檀信徒の皆さまのご理解ご協力のもと、修繕事業が開始されました。
お陰様で令和3年度予定していた建物の外観のお墓部分の修繕が完了しました。
外壁のトタンは全て木材に替わり、見違えるようになりました。



庫裏玄関入口
外構は今後も整備を続けます。

墓地側から見た庫裏部分
雨水の排水問題も対処します。



令和4年度は本堂側の外観工事の予定です。お参りに一部ご不便おかけしますが何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。また大雨の際に墓地が冠水してしまう問題があります。この度の修繕事業を機に対策をおこない、排水の問題を解消していこうと思います。

●●弘願院 数珠つなぎプロジェクトのご報告●●

檀信徒や有縁の方から多くの食品や日用品が弘願院におそなえとして集まっております。

集まった食品や日用品はおさがりとしてお寺に届けてくださった多くの方の心とともに

おすそわけとして支援を必要としている方や団体・個人の方へお届けしています。

おそなえを通じて貧困問題・フードロスの問題を啓発し、もったいないという言葉を手助け合いに繋げるためにお寺として取り組んでいます。

令和3年6月～令和4年2月の数珠つなぎ

- #弘願院檀信徒 I 様
- #弘願院檀信徒 K 様
- #弘願院檀信徒 O 様
- #弘願院檀信徒 H 様

- #法船寺檀信徒 N 様
- #法船寺檀信徒 K 様
- #法船寺檀信徒 A 様

- #石川県内個人様 38名
- #郵送受け取り 7件
- #Amazonほしい物リスト 4件

- #大蓮寺様
- #成学寺様
- #海禅寺様
- #寿経寺様
- #宝幢寺様
- #得浄明院様



「おそなえ」を届けてくださった皆様

食品 (お米・インスタント・缶詰・調味料等) 78点

お菓子 (和菓子・洋菓子・ジュース等) 107点

日用品 (マスク・ティッシュ・タオル・洗剤等) 53点



「おすそわけ」を受け取られた方

個人・団体様へ 19件

お届けさせていただきました！



- #おおくわこども食堂様
- #平和こども食堂様
- #かないわみやのこし食堂様
- #石川県母子寡婦福祉連合様
- #おてらおやつクラブ様
- #その他の団体様

- #金沢市役所生活支援課様
- #石川県内 個人様
- #福祉施設従事者様
- #その他の個人様

大切なこと 五十音シリーズ 「かんしゃ」

われわれの普段の生活は様々な「恩」や「おかげ」によって支えられています。

「咲いた花見て喜ぶならば 咲かせた根元の恩を知れ」

「花一輪が開くにも 天地いっぱい総がかり」

私一人が生きるにも 天地いっぱい総がかり」

綺麗な花が咲くのも土深くに広がる根がしっかりと務めを果たすからこそ枝葉にまで栄養がわたり、

私たちはあの綺麗な花と出合うことができず。また、

花一輪が咲くにも根や茎はもちろん太陽の光や雨、と

いった天地すべてがその一輪の花を咲かすのです。

われわれ人間も同じ。この私一人が生きるために、

身近な人の支えはもちろん、友人やよく行くお店の

店員さんに至るまで、生活をしていく中でも多くの方の

「おかげ」によって支えられているこの私なのです。

無意識に生活をしていると様々なことがいつの間にか

「当たり前」になり、多くの方からいただく無数の「恩」

を忘れがちになってしまいます。

当たり前の反対の言葉は？

以前、「当たり前」の反対の言葉は何？」と姪から

質問されました。その時私は、「ありがとう（有難い）」と

答えました。その字の如く、「有ることが難しい」普段の

生活において、感謝の心を見失ってしまうと自分で自分

の心の中に暗闇を作ってしまう、一つ一つの出来事の

尊さ、有難さに気が付きにくくなってしまおうのです。

そんな時にふと自分を見つめ直し、

自分がどれだけの人に支えられているか、

どれほどの「恩」をいただいて今生活をしてい

るのか、自分自身に問いかけてみましょう。

そうすることで周りの人に対しての感謝の

思いと共に、自然とありがとうという言葉が

出てくるはずですよ。

「改めて言葉に出すなんて少し恥ずかしい

な」と思うかもしれませんが、ありがとうとい

う言葉は、言う側も、言われた側も幸せに

なる素晴らしい言葉ですよ。

今日も一日ありがとうという言葉の種を

自分の近くにいってくださる縁ある方々に

お届けしてまいります。



～心の距離が近い浄土宗のおてら～



ぐ がん いん
弘 願 院

〒921-8031 石川県金沢市野町 1-3-87

Tel : (076) 243-8024

mail : guganin.jodo@gmail.com



弘願院のHPや各SNSを
まとめたQRコードです。



弘願院は「持続可能な
開発目標 (SDGs)」を
支援しています。
金沢市とも SDGs に
取り組むにあたり、
パートナーシップを結ん
でいます。

法然共生

発行年月日 2022年2月21日
発行者 安養山 弘願院
住職 森岡 達圭